

重点施策6 充実した人生を送るための生涯学習の振興

【施策方針】

市教育委員会教育基本方針に基づき、生涯学習の観点に立ち生涯学習推進体制の整備に努め、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化・高度化する学習要求に対応する。

また、生涯を通して充実した学習活動を展開できるよう必要に応じて学習の機会・学習の場を提供するとともに、支援・協力する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 連合婦人会
- ② 連合青年団
- ③ P T A連合会
- ④ 生涯学習支援ネットワークの充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 連合婦人会

- 高齢化社会を迎え、女性の学習への在り方を考え、地位の向上に努めた。
- 青少年の健全育成を図るため、明るい家庭、社会づくりと環境の浄化に努めた。
- 各種団体との連携を密にし、女性のふれあいの場、活動の輪を広げるように努めた。
 - ・ やわたはま国際MTBレースのファミリーイベント「グルメ横丁」で出店した八幡浜ちゃんぽんは来場者に好評であった。また、市民健康マラソンでもコンソメスープを作って参加者に振舞った。
 - ・ 10月の保内文化のつどいに参加するとともに、福祉施設訪問を年4回行うなど、積極的に自主的活動を推進した。会長のリーダーシップのもと3地区間の協力・交流を図り、明るい地域づくりに貢献することができた。

② 連合青年団

- 公民館ほか各種団体との連携を図り、地域の活性化に努めた。
- スポーツ活動・ボランティア活動等を通して、団員の団結力を強めるとともに、地域において社会教育を推進する人材育成に努めた。
 - ・ やわたはま国際MTBレースに多くの団員がコースマーシャルなどボランティアスタッフとして運営に協力し、大会の成功に貢献することができた。
 - ・ 夏と冬にスポーツ大会を開催し、団員間の親睦を深めることができた。さらに、二十歳のつどいでは、人生の節目を祝い励ますアトラクションを実施し、好評を得た。

③ P T A連合会

- 会員の資質向上を図るため、P T A研修活動(講演会の実施)の充実に努めた。
- 地域の良さを生かしたP T A活動の推進に努めた。

- 教育諸条件の整備充実に努めた。
 - ・ 第70回愛媛県PTA大会（八幡浜大会）が「ゆめみかん」を会場に10月26日12時15分より開催された。県下各地から多くのご来賓とPTA関係者が740名以上集まり、盛会のうちに大会を終えることができた。開会行事の前のアトラクションでは川上小学校の児童たちによる子ども神楽が披露され、PTA活動実践発表では、真穴小学校の「愛のみかん運動」を中心とした取組が発表された。また、県PTA大会に先立ち、午前11時から、市PTA研究大会表彰行事を開催し、PTA功労者の労をねぎらった。開催に当たり、大変な面も多々あったが、市PTA本部役員がより一層結束する良い機会となった。
 - ・ 例年であれば、6月末頃開催の役員合同研修会を10月に県PTA大会が開催されるため、時期を変更して、1月25日に開催した。講師に本市出身でもある菊池省三先生を招いて、「言葉が育てば 心が育つ 心が育てば 人が育つ」と題して御講演いただいた。「誉め言葉」や「コミュニケーション」の大切さをわかりやすくお話しいただき、聴講された皆さんから大変好評であった。
 - ・ 年4回開講のPTA大学は、小学1年生を持つ保護者を対象として、講話や体験学習を通して、子育ての不安や悩みを解消したり、自信を深めたりするとともに、学校の枠を超えた会員間の交流を図る機会となる活動である。令和6年度も充実した研修を行うことができた。
 - ・ 市PTAソフトバレーボール大会（8/18）を開催した。16校中15校の参加があり、大変盛り上がり、会員相互の親睦を図るよい機会となった。閉校が決まっていた松柏中学校PTAチームが初優勝を果たした。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなり、通常のPTA活動を推進することができた1年であったが、児童生徒数の減少とともに学校の統廃合が進む中、持続可能なPTAの実現に向けて活動していかなければならない。

④ 生涯学習支援ネットワークの充実

- 「浜っ子人材銀行」と「浜っ子サークル銀行」の発行（隔年更新）をしており、地区公民館をはじめ関係機関への配布を行うとともに、八幡浜市公式ホームページにも掲載し、広く市民に周知するなど、学習活動の支援を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 愛媛県下では、連合婦人会の休止や廃止が進む中、本市の連合婦人会は明確な理念と会長のリーダーシップのもと、熱心な活動が継続されていることは喜ばしい。やわらはま国際MTBレースや市民健康マラソン大会に裏方として協力し、ちゃんぽんやコンソメスープの提供など参加者に好評であった。また各種行事や福祉施設訪問、会員同士の交流活動など自主的活動も盛んに行われている。少子高齢社会の到来による、ライフスタイルの変化やボランティア精神の希薄化が懸念される現状で、婦人会活動の継続には課題も多いと思われるが、各地区間での協力や交流を密に図りながら、活力ある地域作りへの貢献に期待したい。
- 連合青年団においても、団員数の減少という課題のある中で、今年も熱心に活動に取り組

んでいただいた。やわたはま国際MTBレースでのボランティアスタッフとしての協力は大会の成功に大きく貢献した。また、二十歳のつどいにおけるアトラクションの実施など、青年団としての組織をフルに活かした活動ができた。地区公民館や各種団体とのつながりは今後とも継続していただきたい。ともに活動することにより、若者パワーを地域に吹き込み、存在感を表していただきたい。

- P T A連合会については、愛媛県大会が令和6年度は八幡浜市で開催された。一連の準備や実施にあたって大変なご苦勞をおかけしたことと思われる。関係者の皆様にお礼を申し上げたい。開催市ということで、アトラクションに川上小学校の「子ども神楽」、実践発表では真穴小学校の「愛のみかん運動」を中心とした取組など、地域の特色がよく現れた内容であった。大会の開催を通してP T A連合会としての組織力や本部役員の結束力などが強まったと思われる。ここでの成果が各小・中学校に波及していくことを期待したい。
- 少子高齢化が進展する社会の中で、生涯学習支援ネットワークの構築と新たな見直しは重要である。学校と地域、どちらの立場に立ってもすぐに活用できるものがあるがたい。市民へのさらなる周知の在り方と事例の提示など、より工夫をお願いしたい。

【自己評価】

- 婦人会、青年団の会員数は減少しており、令和6年度には青年団の単位団が1つ減ることになったものの、会員数をできるだけ維持し地域貢献を目指した活動を継続している。二十歳のつどいでは、青年団がアトラクションを企画し、人生の節目を迎えた青年たちをお祝いし、会場を盛り上げ、やわたはま国際MTBレースでは、婦人会が八幡浜ちゃんぽんを出店し来場者におもてなしする姿が印象的であった。今後も引き続き、団体の特徴や会員の個性を生かした多種多様な活動を実践していくほか、県内市町の青年・婦人団体との交流を企画し、団体の活性化に努めたい。
- P T A活動においては、市P T A連合会活動方針に基づき、児童生徒の健全育成、会員の意識と連帯感の向上、人権教育の充実等の取組を計画した。特に、令和6年度は、愛媛県P T A大会が本市で開催されたため、県P T A連合会や市教育委員会及び関係諸機関との連絡・調整を密に行うとともに、市内小中学校P T Aとの連携・協力を努めた。開催に当たり、大変な面も多々あったが、盛会のうちに大会を終えることができ、市P T A連合会本部役員の結束力を高めることにも繋がった。また、本年度の活動を経て、コロナ禍で後ろ向きになりつつあったP T A活動も、前向きな雰囲気へと変わってきたようである。学校の統廃合が進む中、様々な課題も出てくると思うが、これを契機により一層、市内小・中学校のP T A活動の活性化が図れればと思う。
- 地区公民館での生涯学習推進事業や小学校P T Aでの愛護班事業など、計画的に事業を推進していただいた。少子高齢化、多様・高度化する社会の中で、公民館ほか、各社会教育施設を生涯学習活動の拠点として、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化に対応できるよう努めたい。そのためのツールとして「浜っ子人材銀行」「浜っ子サークル銀行」等を活用した生涯学習・生涯スポーツに関する情報発信を継続し、市民のニーズに応え、生涯学習の推進を図りたい。

